

旧半田病院敷地における土壤汚染調査の経過について

旧半田病院施設の解体に向け、令和7年度は土壤汚染地歴調査及び概況調査を順次実施しました。

地表面、配管等から深度50cmの土壤を採取して行う概況調査において、敷地内の一部で、土壤汚染対策法等に定める特定有害物質であるふっ素が基準値を超えて検出されました。ふっ素以外に基準値を超えた特定有害物質の検出はなく、範囲も一部区画に限られていることが判明しています。

ふっ素が基準値を超えて検出された区画においては、概況調査終了後に速やかに、雨水等による特定有害物質の拡散を抑止するための応急対策を実施しております。

なお、概況調査の結果については、県条例に基づき本市から愛知県へ報告し、県からも公表される予定です。

今後は、特定有害物質の検出区画内及び概況調査が未実施の地下浄化槽部分において詳細調査を実施する必要がありますが、詳細調査の結果を確認した上で、施設解体に向けて必要な対策を見定めてまいります。

記

1. 概況調査の結果

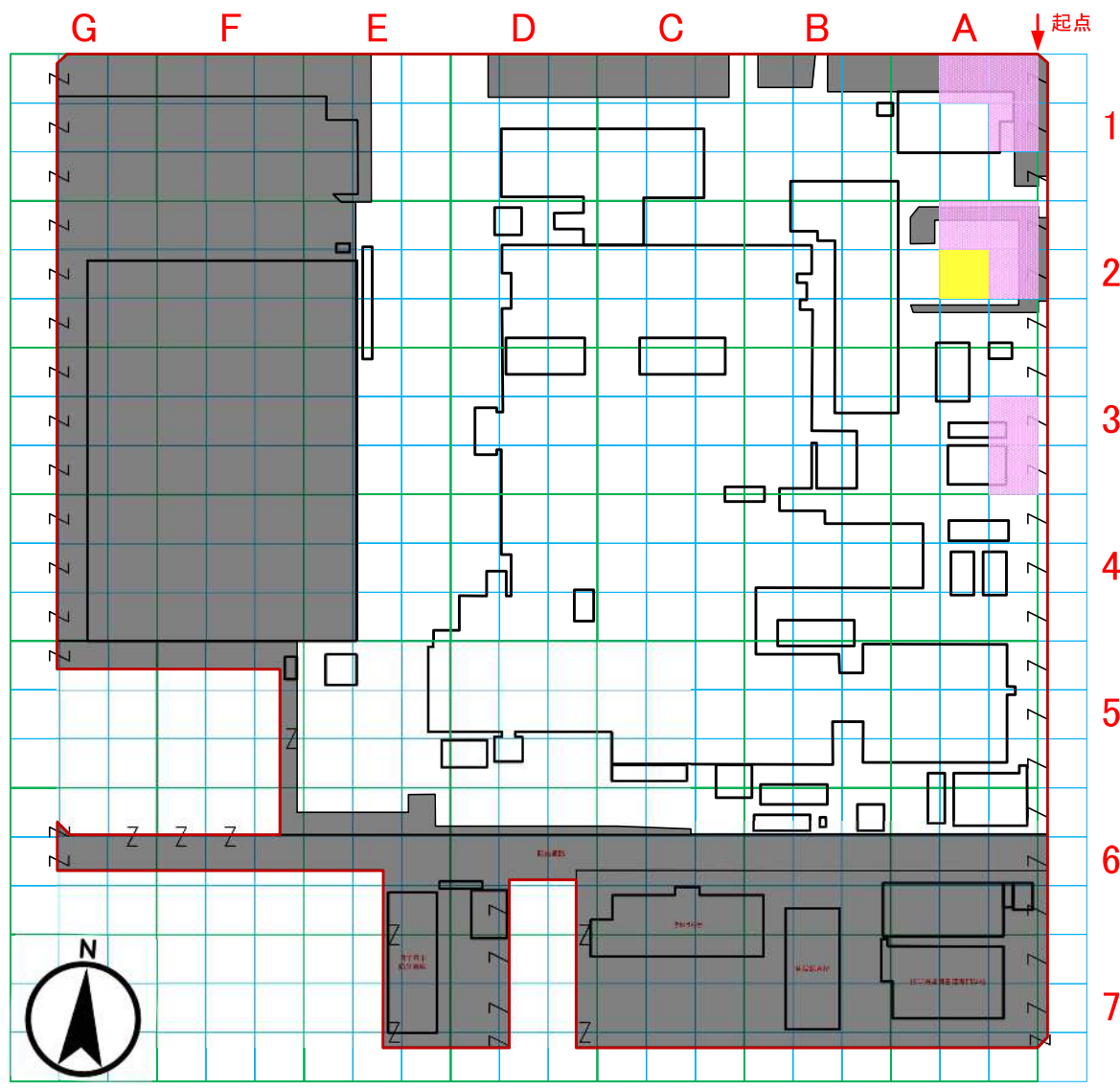
基準値を超過した特定有害物質とその範囲は次ページの概略図のとおり。

2. 詳細調査の実施

調査場所：基準値超過区画及び浄化槽埋設区画 計900㎡

調査内容：深度10mの土壤汚染状況の調査

実施予定時期：令和8年6月以降（5月臨時会に実施費用を補正予算計上予定）



凡例

- 2 基準超過区画
(ふっ素のみ)
 - 3 未調査区域
(浄化槽埋設区画)
 - 4 土壤汚染調査対象外
- } 詳細調査対象区画